

(法第28条第1項関係様式例)

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(特定非営利活動法人の名称)

特定非営利活動法人つなぐ

1 事業の成果

農水商連携コミュニティ・ビジネス事業参加

新規事業として、中島校区に高齢者を雇用とする目的とした加工場の設立と障がい者の雇用を目的とした加工場の設立ができた。

地域の規格外野菜等を使い、新しい生活様式に対応した商品開発・製造・販売の体制を構築した。実績は以下のとおりです。

雇用者数 目標値 4 人 実績値 4 人

開発した商品 目標値 10 品 実績値 68 品



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対 象者の 範囲 及び 人数	支出額 (千円)
障がい者 総合支援 法に基づく 福祉サー ビス事業	なし	なし				
その他この 法人を成 立するに 必要事業	■商品開発 加工品作りを通じた高齢者・障がい者の就労支援に実績がある専門企業（株式会社ホーリーショフ）に委託し、規格外野菜等を利用した商品開発及び高齢者・障がい者の調理研修に取り組んだ。 ■試食会の開催 地元の自治会や飲食店関係者などを対象に試作品の試食会を開催し、商品開発に地元の意見を反映するとともに起業に向けた商品のPRを実施 ■製造・販売体制の構築 熊本市西区の加工場で開発した商品の製造・販売を行うための備品等を購入した。調理研修及び感染症対策や衛生管理など新しい生活様式に対応した作業体制の研修を実施した。	令和2年 10/30~2/28 69回	株式会社 ホーリー ショフ	4人	4人 市内 高齢者・ 障がい者	合計 4137083 円

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

令和2年度 活動計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
(法人名 特定非営利活動法人つなぐ)

科目	金 額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
事業実施者の自主財源			
賛助会員受取会費		0	
2 受取寄附金			
受取寄附金			
施設等受入評価益		0	
3 受取助成金等			
地域づくり夢チャレンジ推進補助金	4,880,000	4,880,000	
4 事業収益			
令和3年3月度の売り上げ	66,270		
〇〇〇事業収益	0	66,270	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0	0	
経常収益計			4,946,270
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	705,490		
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計	705,490		
(2) その他経費			
商品開発委託料	1,794,000		
現材料費	1,398,907		
雑費	238,686		
その他経費計	3,431,593		
事業費計		4,137,083	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬	0		
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
車リース代・保険	49,500		
船リース代・保険	72,600		
印刷製本費			
消耗品費			
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費			
雑費			
その他経費計	122,100		
管理費計		122,100	
経常費用計			4,259,183
当期経常増減額			687,087
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			687,087
前期繰越正味財産額			-715,176
次期繰越正味財産額			-28,089

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。

令和2年度 貸借対照表
令和3年3月31日現在

(特定非営利活動法人つなぐ)

科目	金額(単位:円)		科目	金額(単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
普通預金(肥後銀行小島支店)	250,420				
役員立替分					
平成31年度繰替え金					
流動資産合計		250,420	流動負債合計		0
2 固定資産			2 固定負債		
(1)有形固定資産	3,375,836		借入金	3,654,345	
エアコン一式	600,490				
業務用冷蔵庫	638,000				
オープン	1,145,100				
商品表示ラベルプリンター	182,800				
プロジェクター	99,800				
包装一式	709,646				
.....					
固定資産合計		3,375,836	固定負債合計		3,654,345
資産合計		3,626,256	負債合計		3,654,345
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	-715,176	
			当期正味財産増減額	687,087	
			正味財産合計		-28,089
			負債及び正味財産合計		3,626,256

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日 最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別表として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和 2 年度)

法人名：（ 特定非営利活動法人つなぐ ）

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(3)ボランティアによる役務の提供

(4)消費税等の会計処理

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
エアコン一式	600,490			600,490		600,490
業務用冷蔵庫	638,000			638,000		638,000
オープン	1,145,100			1,145,100		1,145,100
商品表示ラベルプリンター	182,800			182,800		182,800
プロジェクター	99,800			99,800		99,800
包装一式	709,646			709,646		709,646
合計	3,375,836	0	0	3,375,836	0	3,375,836

3. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
理事長借入金	737,114	0	737,114	0
役員借入金	0	3,654,345	0	3,654,345
合計	737,114	3,654,345	737,114	3,654,345

令和2年度財産目録
令和3年3月31日現在

法人名(特定非営利活動法人つなぐ)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金(現金手許有高)			
普通預金(肥後銀行小島支店)	250,420		
.....			
流動資産合計		250,420	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
エアコン一式	600,490		
業務用冷蔵庫	638,000		
オープン	1,145,100		
商品表示ラベルプリンター	182,800		
プロジェクター	99,800		
包装一式	709,646		
.....			
(2)無形固定資産			
.....			
(3)投資その他の資産			
.....			
固定資産合計		3,375,836	
資産合計			3,626,256
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金(〇〇銀行〇〇支店)			
.....			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金(〇〇銀行〇〇支店)			
退職給与引当金			
役員借入金	3,654,345		
.....			
固定負債合計		3,654,345	
負債合計			3,654,345
正味財産			-28,089

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。